

目指そう！単収 200kg！合格以上比率 90%以上

平成 27年 7月 31日
いなば農業技術者協議会
○事務局【JAいなば営農生産課】
小矢部市赤倉97 TEL67-8000
【西部支店】67-8200 【東部支店】67-8300
【南部支店】61-8900 【福岡支店】64-8600
○高岡農林振興センター 26-8480

大豆管理情報 第4号

大豆は近年並みに生育しており、開花期は7月17～19日頃（単作）でした。
今後は夏の高温期に入りますので、病害虫防除、畦間かん水の実施等
適切な管理を徹底しましょう。

1. 病害虫防除 基本防除は適期に確実にいきましょう！

○播種時期によって生育が異なりますので、莢の大きさを確認して防除しましょう。

【基本防除】

	防除時期（目安）	剤型	対象病害虫	薬剤名	10aあたり 使用量	希釈 倍数	総使用 回数	収穫前 日数	
1 回 目	莢が伸びきった頃 ○5月下旬播種 ⇒8月10日頃 ○6月上旬播種 ⇒8月14日頃	粉剤	紫斑病 カメムシ類	スミチオンベルク ート粉剤DL	3 kg	-	4回 以内	21日 前まで	
		液剤	紫斑病	アミスター20 フロアブル	50～75 ml	水 150 ℓ	2,000 ～ 3000	2回 以内	7日 前まで
			アブラムシ類 カメムシ類	ダントツ フロアブル	60 ml		2,500	3回 以内	

2 回 目	子実が莢いっぱい 膨らむ頃 ○5月下旬播種 ⇒8月20日頃 ○6月上旬播種 ⇒8月24日頃	粉剤	紫斑病 アブラムシ類 カメムシ類 ハスモンヨトウ	マネージトレボン 粉剤DL	4 kg	-	2回 以内	30日 前まで
		液剤	紫斑病 アブラムシ類 カメムシ類 マメシクイガ	マネージトレボン フロアブル	150 ml	水 150 ℓ	1,000	2回 以内

【随時防除】

○ ウコンノメイガ(葉巻)：6枚葉巻した株がほ場内に連続して20本以上ある場合は、速やかにサイアノックス粉剤で防除しましょう。『サイアノックス粉剤』 使用量：4kg/10a（2回以内）、収穫前日数：7日前まで

○ 葉焼病： シュウレイに発生が多いとされていますが、近年エンレイでも発生するようになりました。
発生した場合はZボルドーや撒粉ボルドー粉剤DL等で防除しましょう。



葉焼病

裏面もご覧下さい。

2. 干ばつ時の畦間かん水

短時間で実施、速やかな排水を！

○開花期以降土壌水分が不足すると、莢数が減ってしまい青立ちの原因となります。

＜畦間かん水の方法＞

- ① 9月上旬ころまで、3日以上晴天が続き、土壌が白く乾いたら、畦間かん水を実施しましょう。
- ② かん水は短時間で実施し、ほ場全体に水が行き渡ったら水口を止めて、速やかに排水しましょう。

3. 排水対策

溝と排水口の連結を徹底し、水を停滞させない！

○降雨後の排水や畦間かん水時の入排水をスムーズにするため、培土でできた溝と額縁排水溝の連結や、排水口の掘り下げを確実に行いましょう。

4. 雑草防除

大豆にかからないように注意！

○大豆ほ場にヒエやタデ等の雑草が残っている場合は、以下の除草剤を活用しましょう。

・散布にあたっては、吊り下げノズルが必要です。

薬剤名	適用雑草	使用時期	10aあたり 使用量	総使用 回数	使用 方法
バスタ液剤 (畦間・株間処理)	1年生 雑草	大豆本葉5葉期以降 雑草生育期 但し、収穫28日前まで (8月末頃まで)	300～500ml (水 100～150L)	3回 以内	雑草 茎葉散布
ザクサ液剤 (畦間処理)	1年生 雑草	雑草生育期 但し、収穫28日前まで (8月末頃まで)	300～500ml (水 100～150L)	3回 以内	雑草 茎葉散布
ラウンドアップ マックスロード (畦間処理)	1年生 雑草	雑草生育期 但し、収穫前日まで	200～500ml (水 50～100L)	2回 以内	雑草 茎葉散布

【難防除雑草】 — 外から入れない、増やさない、外に出さない —

○近年、帰化アサガオ類、イヌホオズキ類、ヒユ類等の発生が問題となっています。

これらの雑草は、早期発見に努め、雑草が実を結ぶ前に防除(手取り、バスタ液剤やザクサ液剤等による除草剤散布)を徹底しましょう。



帰化アサガオ類



イヌホオズキ類



ヒユ類